

住吉神社の神舞(蛙踊り)

すみよしじんじやのかみまい
(かえるおどり)

市指定

所在地：今田町上小野原



神舞は住吉神社祭礼の宵宮に奉納される。もとは三つの宮座が主体となり奉納していたが、現在は「神舞奉仕会」が行っている。締太鼓とピンザサラの演奏が交代するときに「カエロカエロ」と声をかけることから、別名「蛙踊り」とも呼ばれている。踊りはいわゆる田楽で、楽器は締太鼓、ピンザサラが使用される。踊りの内容は惣田楽と「いづまい」と呼ばれる輪舞で、鶴亀を染め抜いた紺の素袍と袴を着用した踊り手が舞う。

2種類の踊りのみで構成された単純な芸能であるが、中世の田楽の姿をよく留めている。